

潮風

第22号

令和2年度下期
放生津地域振興会
発行責任者 宮島 伊佐夫

越の海

「ワクチン接種せんがけ？」百歳体操休憩タイム。12名の皆さんに聞いか
けました。「な〜ん。四十・五十代の働き盛りの人達先に受けりゃいいが。わ
たしらコロッと逝けばいいがいね」皆さん頷く。なんと思いやりある答か。
「でも！重症化予防する為に高齢者からスタートすんがいぜ。かかったらみんなに迷惑かけつ
がいぜ。だれ年寄りや言うて見捨てっこっちゃ！」

*** ワクチンの効果＝ 感染予防・発症予防・重症化予防・70%以上の人の接種で集団感染
防止期待できる。**

「そうけ。受けたほういいがけ？マスクつけんでもいいなんがやろか？」

*** ワクチンの効果がしっかりと確認されるまで、マスクの着用&3密を避ける対策は続ける
必要がある。**

「地球上で人間一番強い思ったけど、コロナウイルス一番強いがでないが？」（皆笑）

「人類これまでたすけあいでも乗り越えてきたがやよ。みんなで乗り越えんまいけ！」

「そうやね。注射打って、体操して、百歳まで生きっか！」

「パタカラ・パタカラ・パタカラ・・・」

*** 放生津校下自主防災組織「安全・安心部」を立ち上げました。すべての町が入っています。地震・津波・水害・火災・
コロナウイルス等の災害に、地域で助けあって行きます。私が、本部長に就任しました。宜しくお願いします。**



放生津地域振興会
副会長 宮崎 哲郎

射水市アフターコロナ・ウイズコロナ対策支援事業

「澤武紀之」ミニ演奏会 令和3年1月9日(土)

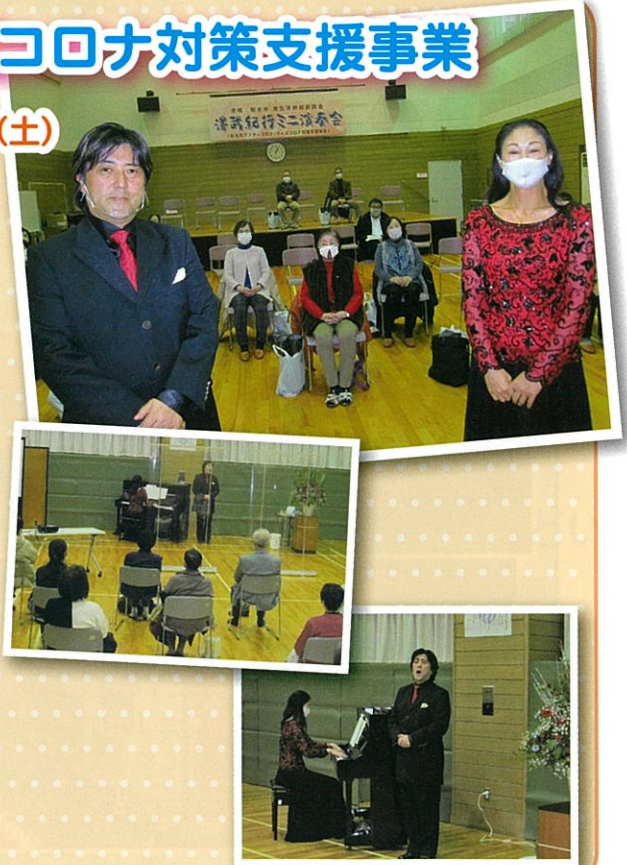
校下出身であり、ドイツでもご活躍の国際的テノール歌手
でもある「澤武紀行」さんに演奏会を開催して頂きました。

コロナ騒動での沈みがちな雰囲気の中、住民の皆さんに、
ひとときでも本場の歌声で、明るく楽しい前向きな気持ちにな
っていただきたい事を願って計画を立てました。

ソーシャルディスタンスを考え、1部と2部の少人数構成
にし、参加者皆さんには、アルコール消毒の徹底・体温測
定・マスク着用・声を出さない等の注意を呼びかけました。

会場にも、澤武さんと参加者の間に、飛沫予防の為のパー
テーションを置き1部と2部の参加者の入れ替え時には、椅
子の消毒・使用済みのスリッパの消毒・換気をしっかりと行
いました。

演奏会では、ピアノの生演奏で、皆さんお馴染みの歌や、
本格的なクラシックな曲も交えながら、普段では味わえない
時間を住民の皆さんに感じて頂き、とても満足して頂けたか
と思います。大雪で足場の悪いにもかかわらず来て頂いた皆
さんは口を揃えて「良かったよ」「来てよかった」と顔を紅潮
しながら帰路に向かわれました。



令和3年度 放生津校区社会福祉協議会だより

放生津校区社会福祉協議会 会長 二口 憲夫



● 10月17日(土)

「ふれあいランチ会」

【対象者】 昭和20年4月1日以前に生まれた方
(在宅一人暮らしで75歳以上の方)

毎年恒例の「ふれあいランチ会」ですが、皆様の健康を第一に考えた結果、**新型コロナウイルス感染予防対策の為、残念ながら中止にせざるを得ないという判断を致しました。**

しかし、楽しみにしておられる方も大勢いらっしゃるかと思われましたので、代案として、民生児童委員さんに協力をして頂き、希望者に簡単なお弁当を配布するという形にしました。



敬老会

おめでとう ございます



●対象者 (75歳以上) 979名 米寿44名 白寿4名

令和2年9月21日(月) 敬老の日に予定しておりました「敬老会」でしたが、新型コロナウイルス感染予防対策の為、残念ながら中止に致しました。

毎年楽しみにしておられる方々には、大変申し訳なく思っております。

米寿の方々には県知事より白寿の方々には地域振興会よりお祝い状を、対象者の皆様全員には、地域振興会より記念品を用意し、各自治会長より手渡して頂きました。

地域支え合いネットワーク事業について

● 12月17日(木)

ミニ講座「クリスマス会」



百歳体操

〈越の潟町「桔梗の会」の様子〉



● 令和3年 2月27日(土)

ミニ講座「スマホ体験教室」



みんなの生涯学習・学級講座

生涯学習事業

● 10月19日(月)「目指そう!いつもの生活にプラス10の運動を!」

(共催 放生津地区ヘルスポランティア)



健康寿命延伸の説明を保健士さんから説明を受講した後、運動指導士さんによるプラス10の実践指導を受けました。

肩こりをほぐす為や骨盤の矯正をする為に腰や肩にゴムバンドを固定したり、下半身の引き締めの為ボールを使って簡単な運動をしました。最後にリンパマッサージも教えてもらい身体全体スッキリする指導も受けました。

● 10月27日(火)「料理教室」

(共催 放生津地区食生活改善推進協議会)



生活習慣病予防の為の栄養生活を考えた献立を立てて、調理実習を行いました。

サバの味噌煮と大根の煮もの・切干大根の彩りサラダ・ツナパスタといった食物繊維やカルシウム・鉄分・ビタミン類が豊富に含まれている食材を使ったり、フライパンひとつで出来る方法も実習に取り入れました。

女性学級

● 9月26日(土)・10月3日(土)・10月17日(土)

「編み物・押し絵教室」



今年も干支にちなんだ編み物・押し絵を中心に挑戦して頂きました。他に、バッグの編み物を申し込んだ方にも来て頂きました。

細かい作業もあり、「目が霞んで見えんわー」「網目が飛ぶわ〜しゃべらんといて〜」会話も弾んだかと思うと、急に沈黙の時間が続いたり、突然、急にみんなで笑い出したりと、思い思いに作品に取り組んでおられました。

● 令和3年 2月1日(月)「折り紙教室」



お顔や細かいパーツは講師が用意してくださり、本体の折り紙を教えて頂きました。

割と細かい部分もありましたが、ほとんど両面テープでの作業でしたので、スムーズに仕上げる事が出来ました。しかし、皆さんこだわりもあり、真剣に取り組んでおられました。

仕上がった華やかで可愛い季節の色紙を手にとって、閉塞感のあった令和2年度の締めくくりの生涯学習事業で、少しでも気持ちにゆとりをもてただけたかと思えます。

高齢者学級

● 11月14日(土)「音楽療法」



皆さん誰もが知っている曲にあわせ、無意識のうち体を左右に揺らし楽しんでおられる姿がとてもほほえましく感じられました。簡単な軽体操や、マラカスといった小道具を使って音楽を身体全体で表現する時間もあり、身も心も満足されたかと思えます。(講師 釣 吉美 先生)

皆さん誰もが知っている曲にあわせ、無意識のうち体を左右に揺らし楽しんでおられる姿がとてもほほえましく感じられました。簡単な軽体操や、マラカスといった小道具を使って音楽を身体全体で表現する時間もあり、身も心も満足されたかと思えます。(講師 釣 吉美 先生)

青少年学級

● 10月31日(土)「ハロウィンのつどい」

新型コロナウイルス感染拡大の為、子ども達も閉塞感があるのではないかと考えハロウィンのつどいを開催しました。

子ども達の参加者は受け付けを終えてから、簡単な衣装をして「ピエロのパット君」のパフォーマンスショーをみて、楽しい時間を過ごしました。



～ 我が町のおんぞはん ～

南立町



我が町内には、2か所の地蔵堂にあわせて3体の地蔵菩薩が祀られています。町内の班別当番の方々でお世話を行いお守りしています。

毎年8月盆近くの日曜日に、2か所の地蔵堂より3体の地蔵菩薩を自治会公民館にお招きして、町内一同での地蔵尊祭りを開催しております。

同日当町では、納涼祭も同時に開催し地蔵尊祭りから町内外の親睦を深めております。(世話人代表 宮原美千代)



南立町地蔵尊祭り



45番



44番

●南立町(16番地14号地内).....44番

高さ25cm、幅18cmの座像と高さ17cm、幅18cmの座像の2体が祀られております。

●南立町(あゆの風センター横).....45番

高さ38cm、幅16cmの立像の1体が祀られております。

●南立町地蔵尊祭り(南立町公民館)

3体の地蔵菩薩をお招き祀られております。

立町



A番

●立町 曼荼羅寺山門前.....A番 (世話人代表 門 千代)

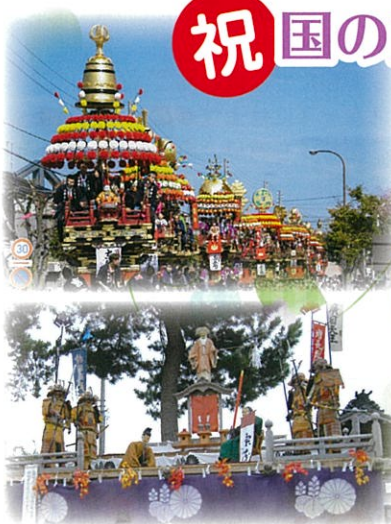
現在、立町のお地蔵様は、曼荼羅寺山門前にある不動明王様のお堂の中に安置されております。

以前は、立町通りにお祀りされていたようですが、いつの時点で現在のようになったのかは、当時を知る方々が亡くなってしまわれてわかりません。現在は、10軒でお世話をしており、毎年8月下旬に地蔵盆のお参りをしております。

これからも、地域の安全を見守っていただくためにお世話をしていきたいと思ひます。ちなみに現在のお堂は、平成27年6月に立町地蔵尊お世話方の協力で建立されました。

広報潮風では毎回放生津地区の「おんぞはん」の紹介をしています。町のおんぞはんをお守りされている方からの投稿をお待ちしています。

祝 国の重要無形民俗文化財指定



1月15日午後5時、待ちに待った『放生津八幡宮祭の曳山・築山行事』が国の重要無形民俗文化財に指定されたと、正式に文化庁から県教育委員会を通じて放生津八幡宮本殿に関係者が集う所に同席していた夏野元志市長に携帯電話で連絡が有り、直ちに夏野市長から国の指定を受けたと、報告をしていただき、同時にこれまでの皆様方のご尽力に感謝の意を表されました。

370年余りの長い歴史と伝統を誇る曳山行事そして築山行事が、遂に国の宝物になりました。放生津八幡宮の祭りとして、毎年10月1日・2日と続いて行事を行っていることが全国的にも珍しく評価されたと聞いております。国指定を受けたことで、現状変更等に一定の制限が課される一方、修理等に対する国庫補助や保存及び活用に必要の各種の措置が講じられる事となります。

ここに改めて、地域の皆様と共に喜び合い、子々孫々に受け伝えていくことを誓ひ合いたいと思ひます。

放生津八幡宮 曳山・築山保存会
会長 四方 正治

編集後記

正月明けから35年ぶりの1m越えの豪雪に見舞われ、毎日の雪掻きで疲れはてているうえにコロナ感染の第3波が襲いました。本来ならば希望輝く新年のスタートなのですが、今年には先行きの見通せない重苦しい年明けでした。ここに来てようやく感染者数が減少傾向にあり、さらに待望のワクチン接種がスタートして少しは明るい兆しが見えてきたように思います。コロナ禍の日常に於いては密を避ける為にもテレワークや、届出書類のオンライン申請等IT化が進んでいます。しかし地域ではパソコンやスマホなど縁な多くの高齢者の方たちがおられません。はなから出れない、分らないと、触れる事そのものに拒絶反応が働いてしまっています。でもスマホはとても便利な道具です。核家族が進み遠く離れて暮らすお子さんやお孫さん達とのコミュニケーションなどにも大変便利です。最近では操作が易しく文字の大きいシニア向けスマホが発売されています。料金も安くなってきたり、誰でも簡単に扱えるツールになってきました。そんな方たちの為にこちらで携帯電話会社による高齢者向けのスマホ教室が開かれています。皆さん、新年度は思い切ってスマホデビューを試してみませんか。(M・H)